

# 申 込 書

平成 22 年 月 日

公益財団法人 旭硝子財団 御中

貴財団の研究助成（平成22年度募集，平成23年度採択）を受けたいので申し込みます。

（フリガナ）

■申請者氏名

■所属機関・職位

■所属機関所在地（〒 - ）

TEL (内線 )

FAX

E-Mail

採択された場合には、旭硝子財団からの寄附金を当機関の研究費使用規程に従って管理することを前提の上で、上記の申請を承認します。

■承認者氏名・職名および公印

(学長、研究科長、学部長、附置研究所長、施設長、センター長)

公印

# 個人情報の取扱いに関する同意書

私は、下記の「旭硝子財団の個人情報保護に関するポリシー」を承諾します。

平成 22 年      月      日

所属：

氏名：  
(自署)

印

## 【旭硝子財団における個人情報保護に関するポリシー】

1. 当財団の研究助成プログラムへの応募者からお預かりした個人情報は、選考に関する手続き（審査と採否連絡）のためだけに使用いたします。
2. 当財団はご申請の研究助成が採択された場合に、①受領者名（所属機関、職位）、②顔写真、③研究課題、④テーマの概要、⑤研究期間、⑥助成金額、⑦助成研究成果報告を公開いたします。公開媒体は当財団の刊行物、ホームページであり、他の機関による二次的な公開も有り得ます。また、当財団が開催する行事にご参加された場合には、個人の肖像写真を当財団の刊行物、ホームページに掲載することがあります。

以上

---

なお、本件に関する当財団の担当者は次の通りです。

旭硝子財団 研究助成部長 増井 暁夫 (Tel: 03-5275-0620)

平成 22 年度募集(平成 23 年度採択) 人文・社会科学系「研究奨励」申請書

<p><b>研究課題</b></p>	<p><b>助成テーマ</b> 右欄に、応募要項に示したテーマのアルファベットを1つ記入する</p>
<p><b>申請者</b> フリガナ： XX XX 氏 名： XX XX 生年月日： 19xx 年 xx 月 xx 日 (xx 才) 所属機関： xx 大学大学院xx 研究科xx 専攻 職位： xx &lt;任期付の場合：20xx 年 xx 月までの任用&gt; 所属機関所在地： (〒xxx-xxxx) xxx 県 xxx 市 xxx 町 xxx [TEL] xx-xxxx-xxxx [FAX] xx-xxxx-xxxx [本人 E-Mail] xxxxx@xxx. ac. jp</p>	
<p><b>研究期間</b> いずれかを <b>囲んで</b> ください 1 年間 2 年間</p>	<p><b>助成申請金額</b> (研究期間を通じた合計) x, xxx 千円</p>
<p><b>研究概要</b> 3ページ目以降の記述内容を要約してください。最も重要なポイントについて、アンダーラインを引いてください。各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください。</p> <p>1) 研究の背景と目的：どのような背景(必要性)があり、何を達成/解決/克服するのか、目標は何か</p> <p>2) アプローチの方法：どのようにして課題を達成/解決/克服するのか</p> <p>3) 研究の独自性：類似の研究とは何が違うのか、独自の発想は何か</p> <p>4) 研究の学術的または社会的な意義と期待効果</p>	

**1. 申請者の略歴、研究分野、業績** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください

1) 学歴・職歴(大学入学から記載してください)

2) これまでに行った主な研究

3) 受賞関係(年月、表彰機関、受賞の名称、題名など)

**2. 共同研究者**(申請者と共同して研究PJ全体に参加する研究者)、**研究協力者**(補助的あるいは部分的に参加する研究者)： どちらであるかを囲み線で示してください

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| ① [氏名・年齢] | (            才) |
| [所属機関・職名] | (共同, 協力)        |
| ② [氏名・年齢] | (            才) |
| [所属機関・職名] | (共同, 協力)        |
| ③ [氏名・年齢] | (            才) |
| [所属機関・職名] | (共同, 協力)        |

**3. 申請研究の内容** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください

1) 研究の背景・今までの経緯

2) 研究の目的・目標 「持続可能な社会の実現に向けた人文・社会科学的な研究」という観点から説明してください

3) 設定された課題を達成/解決/克服するアプローチの方法

各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください

4) **研究計画** 助成金の使途と関連づけながら時系列的に説明してください

5) 類似の研究に対する先行性、研究の独自性

6) 研究の学術的または社会的な意義と期待効果

4. 助成金使途内訳 (記入例をアンダーラインで示しました)

[金額単位：千円]

費 目	1 年目	2 年目	内容・使途説明
<設備・備品費> <u>録音機</u>	<u>35</u>	<u>0</u>	<u>フィールド取材記録用</u>
<消耗品費> <u>CD・DVD等の記録メディア</u>	<u>35</u>	<u>10</u>	<u>単価〇〇円, 〇〇枚</u>
<旅費> <u>東京～京都</u>	<u>50</u>	<u>0</u>	<u>共同研究者との打合せ 2回</u>
<u>東京～鹿児島</u>	<u>0</u>	<u>50</u>	<u>学会発表</u>
<u>東京～カトマンズ</u>	<u>368</u>	<u>0</u>	<u>フィールド調査2回</u>
<u>現地宿泊費</u>	<u>80</u>	<u>0</u>	<u>同上</u>
<u>現地レンタカー代</u>	<u>100</u>	<u>0</u>	<u>同上</u>
<謝金> <u>現地アルバイト</u>	<u>50</u>	<u>0</u>	<u>〇〇でのフィールド調査協力謝金</u>
<印刷費> <u>資料代</u>	<u>0</u>	<u>40</u>	<u>セミナー開催の資料作成</u>
<通信費> <u>電話代</u>	<u>0</u>	<u>10</u>	<u>フィールド調査時の国際電話代</u>
<会議費> <u>会場費</u>	<u>0</u>	<u>42</u>	<u>セミナー開催の会場費</u>
<資料費> <u>地図等</u>	<u>50</u>	<u>40</u>	<u>現地地図ならびに航空写真等購入</u>
<所属機関に支払う間接経費※>	<u>32</u>	<u>8</u>	<u>免除申請が認められる可能性あり 内数として4%</u>
小 計	<u>800</u>	<u>200</u>	
合 計	<u>1,000</u>		

※ 当財団は、原則として機関に支払う間接経費（オーバーヘッド）をお断りしています。採択後に、出来る限り学内で免除申請を行ってください。もしこの申請書に間接経費を計上した場合には、免除の可能性について必ず記入してください。

**5. 他機関からの研究助成** 科研費等の国の競争的研究費、他の財団等からの助成金はすべて該当します

**1) 申請者が最近2年間に受領した助成金**

助成開始年度がそれ以前であっても、あるいは本申請と異なるテーマであっても、当該期間に受領したものをすべて書いてください

受領年度	助成金の名称	受領者名	研究題目	金額 (千円)
～				
～				
～				
～				
～				

**2) 申請者が現在申請中、あるいは近く申請を予定する助成金** 当財団への申請と内容が重複するもののみ書いてください

年度	助成金の名称	受領者名	研究題目	金額 (千円)

※ 同じ研究内容を重複して他の機関に申請されることは差支えありません。但し、他の機関から先に採択された場合には、当財団への申請を取り下げてください。故意に記載せず、重複した助成が判明した場合には、採択が取り消されることがあります。

※ 本申請と他の申請との関係で記述すべきことがあれば、下の空欄にご記入ください。

**6. 選考において配慮を希望する事項** 研究助成申請にあたって希望することがあれば、下の空欄にご記入ください(自由記載)

- 7. 関連論文リスト** 本申請に関連する主に2005年以降の申請者自身の論文リストをこのページに収まる範囲で作成してください。  
代表的論文1件に○印を付けるとともに、その○印を付けた代表的論文1件の別刷コピー等を添付してください。  
著作物のページ数によっては、抜粋で構いません。

**8. アンケート** 当財団の研究助成の募集をどのような手段で知りましたか？

下記の選択肢の中から選んで項目番号に囲み線をつけてください。

- |                               |                                |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 学内の掲示(掲出物・学内者用ホームページやメール等) | 2. 学協会からの情報(メール配信・ホームページ・学会誌等) |
| 3. IBLCからのメール配信               | 4. 個人的な情報伝達                    |
| 5. 当財団のホームページに直接アクセス          | 6. 一般の検索エンジンを経由して              |
| 7. その他(できれば具体的に:<br>)         |                                |

\*ご回答いただき、ありがとうございました。今後の広報活動に役立たせていただきます。